

令和7年度

ざっくりわかる



白馬村キャラクター
ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世

白馬村の予算





予算のしくみ	・・・1
◇予算ってなに？	
◇予算ってどうやって決めるの？	
◇予算って変えられるの？	
予算を知ろう	・・・2～
◇予算規模はどのくらい？	
◇どんな収入があるの？	
◇どんな支出があるの？	
令和7年度の重点事業	・・・6～
令和7年度の主な事業	・・・7～

【はじめに】

この資料は、令和7年度白馬村一般会計予算をなるべくわかりやすく「ざっくり」と説明するようにしてみました。白馬村が進もうとしている方向性や政策を理解していただくための基礎資料として、村の予算を「ざっくり」と理解していただき、すこしでも村のみなさんと情報が共有できれば幸いです。

Q1 予算ってなに？

A

役場では、福祉、教育、ごみ処理、消防、道路の整備など、様々な仕事をしていますが、どんな仕事にお金を使うのかあらかじめ決めておく必要があります。

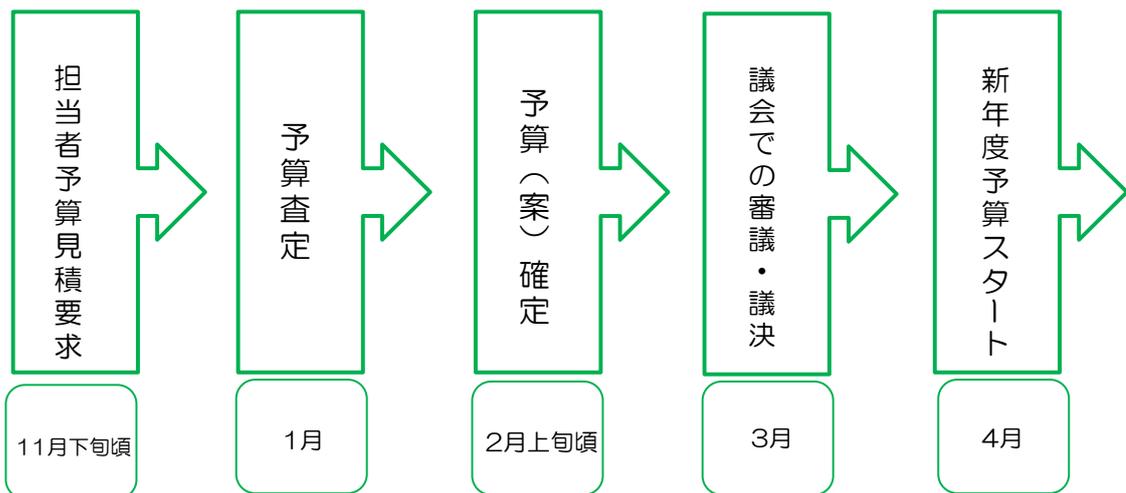
そこで、1年間（4月から翌年の3月まで）に役場に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内でその使いみち（支出）を計画したものが「予算」になります。

Q2 予算ってどうやって決めるの？

A

役場の担当課が、皆さんからの意見・要望や実施計画などをもとに行政サービスを検討します。村長は、各担当課の要求を予算案としてまとめ、村議会に提案します。村民を代表する村議会は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで、議決により予算を決めます。

●村の予算ができるまで（令和7年度当初予算までの流れ）



Q3 予算って変えられるの？

A

年度の途中で予算を変えることを「補正予算」といいます。

自然災害など、当初の見積りでは予定していなかった経費が必要となった場合には、それに対応するための予算案を作成し、6月、9月、12月、3月の定例会などで村議会へ提案します。

Q4 予算規模はどのくらい？

A

一般会計・特別会計・企業会計をあわせると98億8,636万3千円になります。

一般会計

福祉、教育、道路整備など基本的な行政サービスを行う会計です。

特別会計

白馬村では、国民健康保険・後期高齢者医療の2会計があります。

企業会計

白馬村が経営する地方公営企業法を適用する会計です。
水道事業・下水道事業・農業集落排水事業の3会計があります。

区分	令和7年度	令和6年度	増減額
一般会計	70億9,000万円	67億600万円	3億8,400万円
特別会計	12億7820万円	12億1,563万円	6257万円
国民健康保険	11億3510万円	10億8,010万円	5500万円
後期高齢者医療	1億4310万円	1億3,553万円	757万円

水道事業会計		令和7年度	令和6年度	増減額
収益的収支	収入	3億9,416万3千円	3億2,422万2千円	6,994万1千円
	支出	3億2,402万円	3億427万円	1,975万円
資本的収支	収入	851万9千円	1億652万2千円	△9,800万3千円
	支出	1億7,910万6千円	1億8,267万7千円	△357万1千円

下水道事業会計		令和7年度	令和6年度	増減額
収益的収支	収入	4億8,560万3千円	4億7,978万9千円	581万4千円
	支出	4億7,371万9千円	4億7,624万6千円	△252万7千円
資本的収支	収入	4億5,928万8千円	4億1,264万1千円	4,664万7千円
	支出	5億3,402万8千円	4億8,669万6千円	4,733万2千円

農業集落排水事業会計		令和7年度	令和6年度	増減額
収益的収支	収入	568万6千円	545万8千円	22万8千円
	支出	568万6千円	545万7千円	22万9千円
資本的収支	収入	33万3千円	30万7千円	2万6千円
	支出	160万4千円	158万2千円	2万2千円



ワンポイント

特別会計とは？

特定の収入を特定の目的のために使用する会計予算のことで、一般会計とは区分して経理を行っています。

企業会計とは？

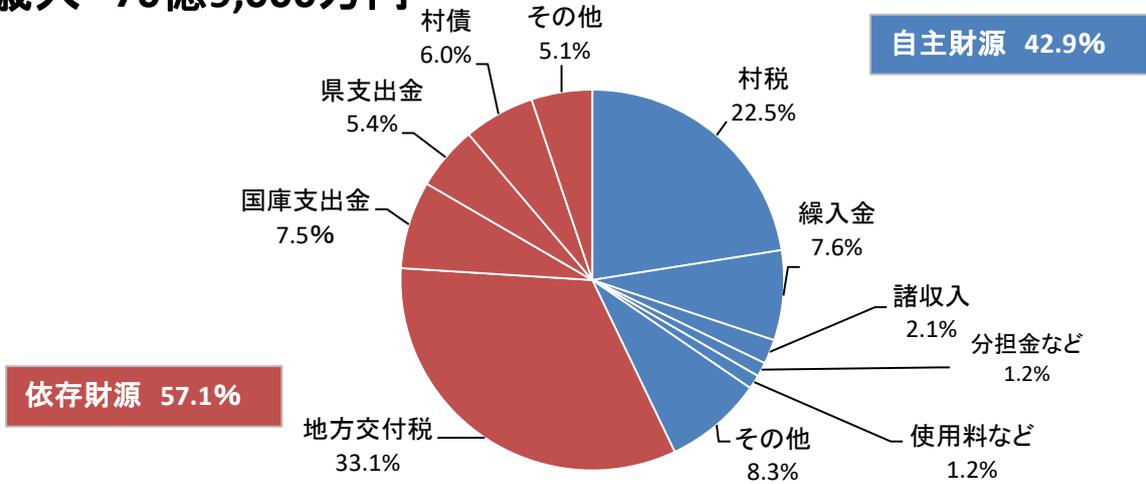
特定の事業について民間企業と同様に事業を行った収入を事業費に充てて運用していく独立採算性の予算です。

Q5 白馬村の予算にはどんな『収入』があるの？

A

白馬村の一般会計予算における収入の項目別内訳は次のとおりです。

歳入 70億9,000万円



【依存財源】 40億4,674万5千円	【自主財源】 30億4,325万5千円
地方交付税 23億4,480万円 みなさんが国に納めたお金の一部です。地方公共団体の財政状況等に応じて配分されます。	村税 15億9,437万5千円 みなさんが白馬村に納めていただく税金の総額で、固定資産税や住民税などです。
国・県支出金 9億1,222万1千円 みなさんが国や県に納めたお金の一部が、特定の目的を達成するために交付されています。	繰入金 5億4,149万円 村が積み立てている基金から繰り入れるお金の総額です。
村債 4億2,630万円 事業を実施するために、国や銀行から借り入れるお金です。	諸収入 1億4,726万5千円 検診などの自己負担分や資源ごみの売却料金などが含まれます。
その他 3億6,342万4千円 みなさんが納めた消費税や揮発油税などの一部が公金として交付されます。	分担金など 8,583万4千円 学校給食費や保育料、老人福祉施設入所者負担金などが含まれます。
ワンポイント 一般会計の歳入には、村税や国・県からの支出金、銀行などからの借入金や施設の使用料などがあります。白馬村が自主的に調達できる収入を「自主財源」といい、国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や村債のことを「依存財源」といいます。	使用料など 8,448万5千円 ジャンプ台リフトなど施設の使用料や道路など公有財産の占用料などが含まれます。
	その他 5億8,980万6千円 ふるさと納税の寄附金や繰越金、財産収入等が含まれます。

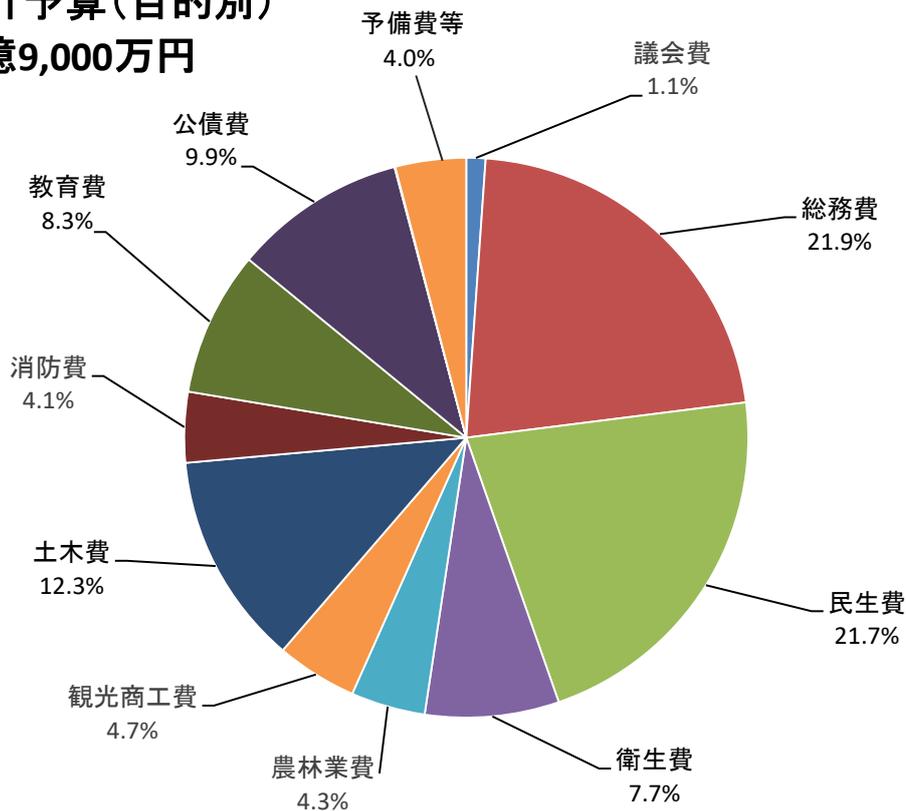
Q6 白馬村の予算にはどんな『支出（目的別）』があるの？

A

白馬村の一般会計予算における支出（目的別）の項目別内訳は次のとおりです。

議会費 (村議会の運営) 7,800万6千円	総務費 (全般的な仕事) 15億5,155万6千円	民生費 (社会福祉/子育て) 15億3,832万2千円	衛生費 (医療/環境保全) 5億4,452万5千円	農林業費 (農林業振興) 3億221万1千円	観光商工費 (観光商工業振興) 3億2,974万9千円
土木費 (公共土木施設) 8億7,143万2千円	消防費 (防災/消防) 2億8,871万4千円	教育費 (学校/社会教育) 5億9,191万4千円	公債費 (借入金の返済) 7億309万3千円	災害復旧費 300万円	予備費等 2億8,747万8千円

一般会計予算(目的別) 70億9,000万円



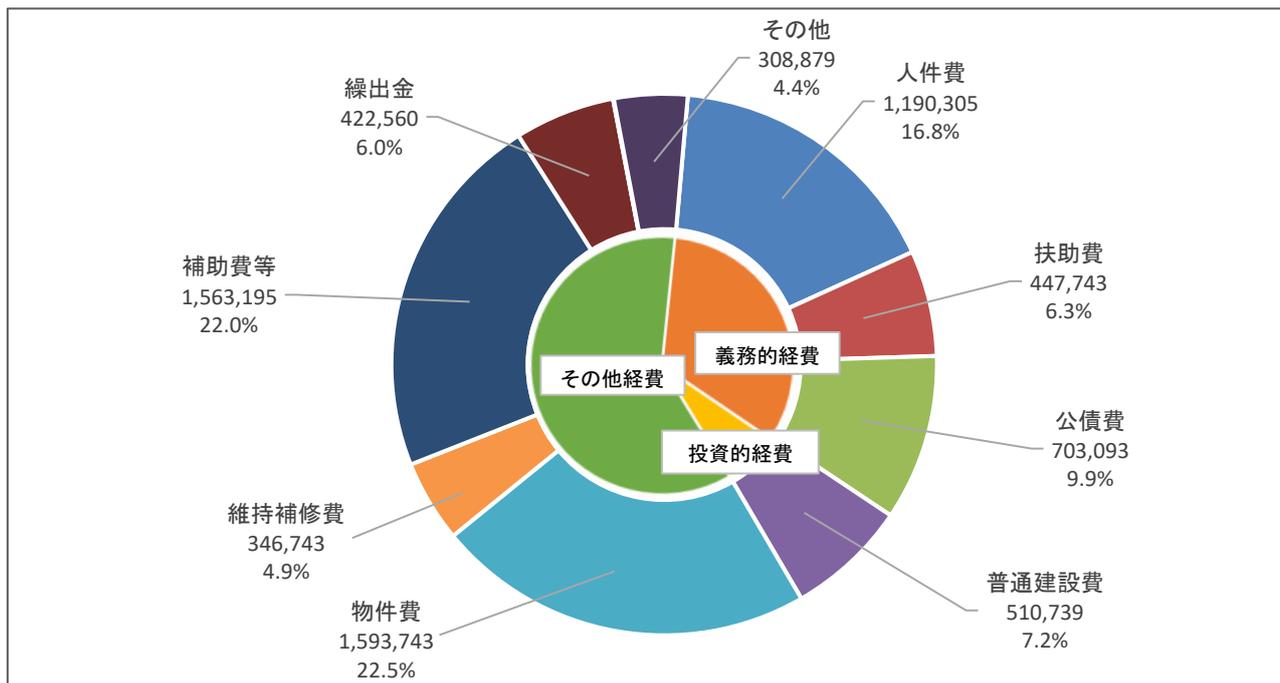
ワンポイント

令和7年度予算は、令和6年度当初予算と比較して3億8,400万円の増額となりました。昨年度より増額となった主な費用は、総務費（自治体システム標準化、企画事業、地球温暖化対策事業等）、民生費（子育て支援施設建設事業等）、消防費（非常備消防事業等）などが挙げられます。

Q7 白馬村の予算にはどんな『支出（性質別）』があるの？

A

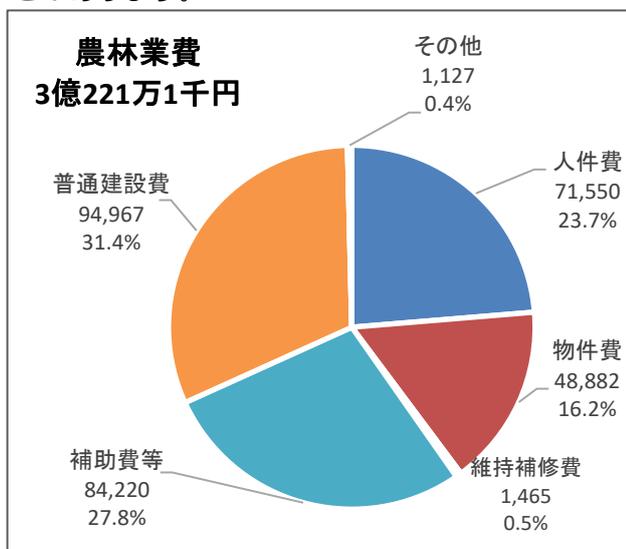
白馬村の一般会計予算における支出（性質別）の項目別内訳は次のとおりです。（単位：千円）



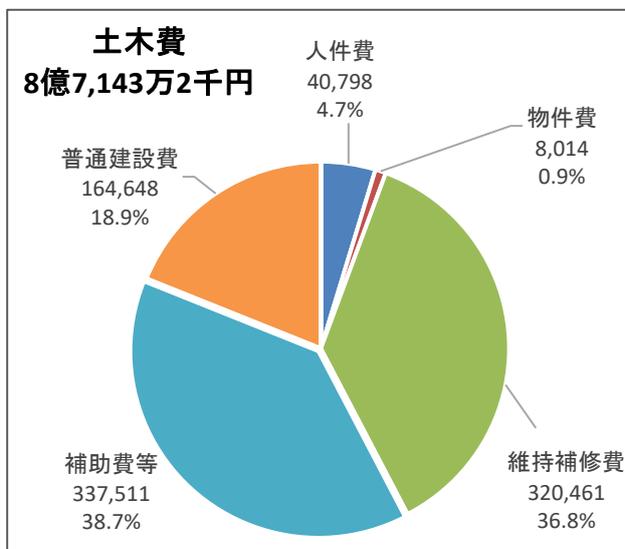
「義務的経費」とは、人件費、扶助費、公債費のことをいい、毎年必ず支出しなければならない経費です。

「投資的経費」とは、道路工事や橋などの改修等を行うための経費です。

「その他経費」とは、公共施設の維持管理のための維持補修費、通信費や消耗品費などを含む物件費などがあります。



農林業費は、生活道路等の復旧工事が普通建設費に計上されています。また、スマート農業技術の導入を支援する電動草刈機等購入補助金の拡充や、ナラ枯れ対策による支障木・森林病虫害防除等補助金が補助費等に計上されています。



土木費は、道路改良に係る普通建設費、除雪事業等に係る維持補修費、補助費には下水道事業会計出資金が計上されています。

令和7年度の重点事業

(1) 防災・減災の村づくり

全国各地で災害が激甚化・頻発化している昨今、住民や観光客が安心して暮らし、滞在できるよう、強靱な村づくりと防災・減災のための体制づくりを強化します。



(2) 気候変動・環境対策

「白馬村気候非常事態宣言」や「白馬村ゼロカーボンロードマップ」に則り、ライフスタイルの変化を環境負荷の低減につなげるとともに、環境に配慮した活動により環境と暮らしと経済の好循環を目指し、環境と共生しながら、環境変化にも対応した社会づくりを推進します。



(3) 移住・定住の推進

村内に存する空き家・空き地を有効活用することにより、移住希望者にとって不足している村内の家屋を移住希望者に繋げることや、この地に定住を希望する者への住宅建設に繋がる各種の方策を確立します。



(4) 子育て支援（少子化対策）の推進

喫緊の課題である人口減少に備え、子育て世代が定住し、子どもを安心して産み育てられる村づくりの実現に向けて、社会環境の変化や、子ども・子育てを取り巻く現状等を踏まえ、効果的かつ総合的な子育て支援の取組を推進します。



(5) 農林業の振興

担い手不足の解消に向け、意欲ある農林業者や就業希望者に対する経営規模拡大や協業化の取組をソフト・ハード両面で重点的に支援します。またスマート農業技術の導入を促進することで生産性の向上を図るとともに、新たにスマート林業などを推進することで適切な森林管理を行い林業の持続的発展を目指します。



(6) 「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進

国際基準に準拠した観光地経営計画の策定を通して、美しい山岳景観と恵まれた自然、それらに育まれた生活と文化を守り、住民が誇りを持ち世界中から訪れる人それぞれに居心地の良さを提供することができる「マウンテンリゾート・Hakuba」としての魅力を高め、競争力と持続可能性を高める観光地経営を目指します。

令和7年度の主な事業説明

令和7年度当初予算に計上した主な事業について、担当課ごとに説明します。

〇〇事業		総事業費：万円
係名：		
主な事業	財源内訳	
第5次総合計画基本目標	SDGs目標	

第5次総合計画基本目標

暮らし -安心してみんなが暮らせる村-

- 多様性を尊重し、住民が主体的に共生・協働する村づくり
- 安心・安全の生活を支える村づくり
- 支え合う福祉と健康の村づくり
- 自立的・効率的で健全な行財政の村づくり

産業 -新しい仕事をつくりだす村-

- 「世界水準」を意識した観光の村づくり
- 農地と森を守り地産を活かす村づくり
- 商工業振興により雇用を生みだす村づくり
- 民間活力を活かす村づくり

ひと -1人ひとりが成長し活躍できる村-

- 学びあい育てあう村づくり
- 生涯にわたりスポーツに親しむ村づくり
- 一人ひとりに活躍の場がある村づくり

自然 -魅力ある自然を守る村-

- かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり
- 自然との生き方を受け継ぐ村づくり
- 美しい景観を守り育む村づくり
- きれいな水と空気に囲まれる村づくり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



○ 総務課

非常備消防事業		総事業費：6,983万円																					
【重点分野】防災・減災の村づくり		係名：																					
<p>(1)消防ポンプ車更新 白馬村消防団南部分団の消防ポンプ車の更新を行います。 新型車は飯田地区へ配備する予定です。 緊急防災・減災事業債（充当率100%・交付税措置70%）を活用します。</p>																							
<p>(2)消防団活動服購入費 伸縮性や高視認性に優れた消防団用活動服を導入します。 夜間でも安全に活動できるようオレンジ色の配色を増やし、消防団員の安全面・機能性及び運動性に配慮した活動服です。</p> <p>1着当たり 28,930円 活動服（上下、キャップ、階級章、分団章ベルト、袖用ワッペン） 250名分</p>																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">主な事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防ポンプ車両購入費</td> <td>新規 2,860万円</td> <td>国・県支出金</td> <td>241万円</td> </tr> <tr> <td>消防団活動服購入費</td> <td>新規 723万円</td> <td>村の負担（村債）</td> <td>2860万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ふるさと基金繰入金</td> <td>90万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>村の負担（一般財源）</td> <td>392万円</td> </tr> </tbody> </table>		主な事業費		財源内訳		消防ポンプ車両購入費	新規 2,860万円	国・県支出金	241万円	消防団活動服購入費	新規 723万円	村の負担（村債）	2860万円			ふるさと基金繰入金	90万円			村の負担（一般財源）	392万円		
主な事業費		財源内訳																					
消防ポンプ車両購入費	新規 2,860万円	国・県支出金	241万円																				
消防団活動服購入費	新規 723万円	村の負担（村債）	2860万円																				
		ふるさと基金繰入金	90万円																				
		村の負担（一般財源）	392万円																				
<p>第5次総合計画基本目標 安心・安全の生活を支える村づくり</p>		<p>SDGs目標</p> 																					

財産管理事業		総事業費：8,250万円													
【重点分野】気候変動・環境対策		係名：財政係													
<p>温室効果ガスを排出しない移動・輸送・交通を目的として、持続可能な社会の実現のために公用車にEV車両を導入します。 走行中の排出ガスゼロで、カーボンニュートラルの実現に貢献します。</p>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">主な事業費</th> <th colspan="2">財源内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EV公用車購入費</td> <td>新規 277万円</td> <td>村の負担（村債）</td> <td>240万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>村の負担（一般財源）</td> <td>37万円</td> </tr> </tbody> </table>		主な事業費		財源内訳		EV公用車購入費	新規 277万円	村の負担（村債）	240万円			村の負担（一般財源）	37万円		
主な事業費		財源内訳													
EV公用車購入費	新規 277万円	村の負担（村債）	240万円												
		村の負担（一般財源）	37万円												
<p>第5次総合計画基本目標 かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり</p>		<p>SDGs目標</p> 													

企画一般事業		総事業費：5,213万円	
<p>【重点分野】 移住・定住の推進</p> <p>村内で新たな産業と雇用を創出し、定住者の増加を図ります。 これに向けて、半官半民の組織として、稼ぐ事業を展開しながら、地域課題を解決する非営利事業も行う「地域公社」の可能性を検討します。</p> <p>※新しい地方経済・生活環境創生交付金を活用</p>		<p>係名：企画政策係</p>	
<p>主な事業費</p> <p>地域公社設立可能性調査 新規 1,000万円</p>	<p>財源内訳</p> <p>国支出金 500万円 ふるさと基金繰入金 500万円</p>		
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>民間活力を活かす村づくり</p>	<p>SDG s 目標</p>		

コミュニティ推進事業		総事業費：500万円	
<p>各行政区が行う地域活性化、安全な生活環境の確保、景観形成等の事業に対して補助金を交付して、地域住民の主体的な取組を支援します。</p>		<p>係名：企画政策係</p>	
<p>主な事業費</p> <p>地域づくり事業補助金 500万円</p>	<p>財源内訳</p> <p>ふるさと基金繰入金 500万円</p>		
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>多様性を尊重し、住民が主体的に共生・協働する村づくり</p>	<p>SDG s 目標</p>		

ふるさと納税事業		総事業費：2億4,484万円	
<p>【重点分野】 「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進</p> <p>多種多様な返礼品の提供や積極的な情報発信等により、多くの方から寄附をいただけるよう努めます。 また、白馬村独自の特設サイトや白馬村内で利用できるポイント等の寄附を増やし、経費削減と業務効率の向上を図ります。 (寄附見込額：5億円)</p>		<p>係名：企画政策係</p>	
<p>主な事業費</p> <p>返礼業務委託（観光局） 2,750万円 返礼品調達費用 1億4,500万円 ポータルサイト掲載委託料 4,326万円 返礼品配送料 1,210万円 決済手数料 725万円</p>	<p>財源内訳</p> <p>ふるさと寄附金 2億3,511万円</p>		
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>多様性を尊重し、住民が主体的に共生・協働する村づくり</p>	<p>SDG s 目標</p>		

移住・交流・集落支援事業

総事業費：6,759万円

【重点分野】移住・定住の推進

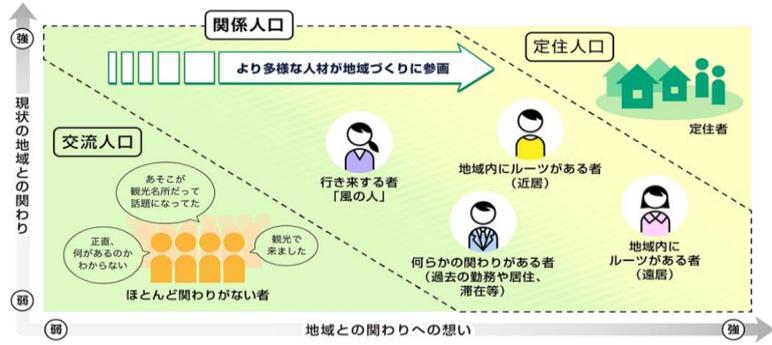
係名：企画政策係・情報環境係

(1) 関係人口創出事業

ファンコミュニティを設立し、地域の様々な情報を発信するとともに、地域の課題を可視化して村内外の人々の参加・支援・協力を募ることで、人手不足等の解消につなげます。

また、地域住民との交流機会を創出することで、繰り返し関わりを持つ関係人口や交流を機に移住・定住する人を増やします。

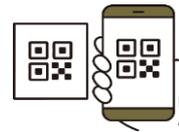
※新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用



(2) デジタル地域通貨の導入

白馬村・小谷村の2村で利用できるデジタル地域通貨を導入し、地域内経済循環の促進を図るとともに、事業者の協力を得て「村民割引制度」を創設し、「住みやすい村づくり」に取り組むことで、定住人口の増加につなげます。

※新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）活用



(3) 空き家の活用

村内の空き家の低減と移住希望者に対する住居提供を目的として、協力事業者や移住希望者を募集してDIY（参加型ワークショップ）により物件を改修し、住環境を確保します。移住者希望者と地域住民をつなぐコミュニティの創出と入居者による空き家の再生を目指します。

※地域おこし協力隊の活動として実施するため、特別交付税の交付対象事業となります。



(4) 地域おこし協力隊・集落支援員・副業型地域活性化起業人の活用

地域おこし協力隊・副業型地域活性化起業人を活用し、上記の移住・定住推進事業を推進します。また、集落支援員を配置し、各地区の課題の把握や主体的な取り組みの支援等を行います。

※地域おこし協力隊・集落支援員・副業型地域活性化起業人の報酬や活動費は特別交付税の交付対象事業となります。

(5) ふるさと人材奨学金返還補助金（未来を担う国際観光人材育成事業）

若者の修学の機会均等及び定住の促進や地域を担う観光人材の確保を目的として、白馬高校を卒業後に高等教育機関（大学等）に進学し、白馬村内に定住して観光に関連する事業所に就職された方の奨学金の返還を補助します。（上限20万円×最長5年間）

※企業版ふるさと納税（企業からの寄附金）を活用して事業を実施しています。

主な事業費			財源内訳	
関係人口創出事業	新規	900万円	国支出金	1,100万円
デジタル地域通貨導入	新規	1,800万円	諸収入等	602万円
空き家DIY支援業務	新規	200万円	ふるさと基金繰入金	700万円
地域おこし協力隊（3名）	拡充	1,137万円	村の負担（一般財源）	2,725万円
集落支援員（3名）		845万円		
副業型地域活性化起業人	新規	145万円		
奨学金返還補助金		100万円		

※「村の負担（一般財源）」の大半が特別交付税として財政措置されます。

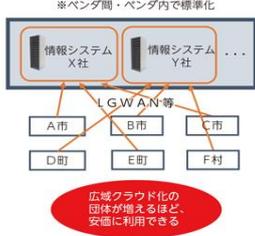
第5次総合計画基本目標
多様性を尊重し、住民が主体的に共生・協働する村づくり

SDGs目標



ケーブルテレビ白馬管理運営事業		総事業費：1,685万円
		係名：情報環境係
<p>ケーブルテレビは、光ファイバーケーブルを敷設して、ケーブルテレビ局のセンターと村内の家庭を一軒一軒ケーブルで結び、放送サービスを提供しています。令和7年度は、ケーブルテレビのサーバー非常用電源装置（UPS）の改修工事を実施します。</p>		
主な事業費		財源内訳
UPS更新工事請負費 新規 374万円	基金繰入金	374万円
第5次総合計画基本目標 自立的・効率的で健全な行財政の村づくり	SDGs目標	

情報化対策事業		総事業費：3,387万円
		係名：情報環境係
<p>(1)インターネット系PC端末購入事業 Windows10のサポートが2025年10月に期限を迎えるのに伴い、インターネット系端末（20台）の更新を図ります。</p> <p>(2)DX環境整備事業 ドキュワークス（DocuWorks）は、ワード、エクセルなどの業務上使用する文書データを、同一画面で処理を一元化できるソフトウェアです。行政事務を効率化し庁内DX環境の整備を図ります。</p>		
主な事業費		財源内訳
パソコン等購入費 新規 550万円	村の負担（一般財源）	550万円
ドキュワークス使用料 新規 184万円	ふるさと基金繰入金	184万円
第5次総合計画基本目標 自立的・効率的で健全な行財政の村づくり	SDGs目標	

電算事業		総事業費：1億8,764万円
		係名：情報環境係
<p>(1)自治体システム標準化事業 国の基本方針に基づき、行政基幹システムの統一・標準化を図るため、対象業務（20業務）に対してクラウドサービス（ガバメントクラウド）上に移行する整備費を計上するものです。これまでサーバー上で管理していたデータを、クラウドサービスで保管することになります。この情報システム標準化により、自治体運営の効率化、システム開発・運用のコスト削減、データ連携・一元管理、住民の利便性向上が見込まれます。</p>		<p>※ベンダ間・ベンダ内で標準化</p> 
主な事業費		財源内訳
標準化委託料 新規 1億4,742万円	国支出金	9,068万円
広域負担金 新規 1,382万円	村の負担（一般財源）	7,056万円
第5次総合計画基本目標 自立的・効率的で健全な行財政の村づくり	SDGs目標	

地球温暖化対策事業

総事業費：4,096万円

【重点分野】 気候変動・環境対策

係名：情報環境係

「白馬村気候非常事態宣言」、「白馬村ゼロカーボンシティ宣言」及び「白馬村ゼロカーボンビジョン・ロードマップ」に則り、ライフスタイルの変化を環境負荷の低減につなげるとともに、環境に配慮した活動により環境と暮らしと経済の好循環を目指し、環境と共生しながら環境変化にも対応した社会づくりを推進するため、住民、事業者及び行政が一丸となった取組を図ります。

(1)GX専門人材の設置

行政の取組むゼロカーボンロードマップの実装と、住民や事業者の取組を後押しするため、外部人材の設置によるコンサルタント支援業務に取り組みます。

(2)ゼロカーボン戦略実現及び取組の継続実施を図るための共創プラットフォーム可能性調査の実施

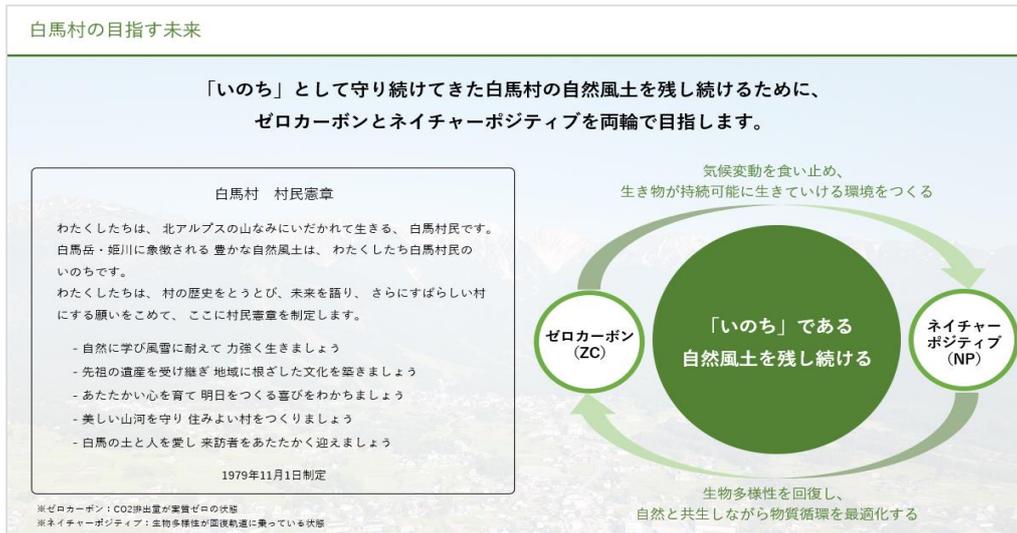
類い稀な自然環境を活かした「インバウンド観光」を強みとする地域である一方、その価値の源泉である「自然資源の保全・回復」が同時に求められており、観光産業の活性化による経済的持続可能性と、カーボンニュートラルやネイチャーポジティブを通じた環境的持続可能性の両立が課題であることから、官民連携の共創拠点エリアとして、既存のグリーンスポーツエリアの再整備について国庫補助を活用した民間資金活用事業調査に取り組みます。

(3)村内CO2排出量の測定と排出源分析に基づく削減戦略を策定支援委託業務

村内の活動に起因する部門別CO2排出量測定に加えて、ゼロカーボンロードマップ実現に向けた削減戦略の策定と伴走支援コンサルタント委託業務に取り組みます。

(4)公共施設への再エネ設備導入事業

ふれあいセンター及び白馬中学校の2施設の屋根を太陽光発電屋根に改修し、公共施設への再エネ設備の導入率先による脱炭素化を進展させるとともに、災害時の防災拠点（避難所）のエネルギー供給の同時実現を図ります。



主な事業費			財源内訳	
GX専門人材設置支援委託料	拡充	800万円	ふるさと基金繰入金	240万円
共創プラットフォーム可能性調査委託料	新規	1,000万円	村の負担（一般財源）	560万円
CO2排出量測定・削減支援業務委託料	新規	700万円	国支出金	1,000万円
公共施設再エネ設備導入リース料	新規	1,075万円	県支出金	560万円
			ふるさと基金繰入金	140万円
			村の負担（一般財源）	1,075万円

第5次総合計画基本目標
かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり

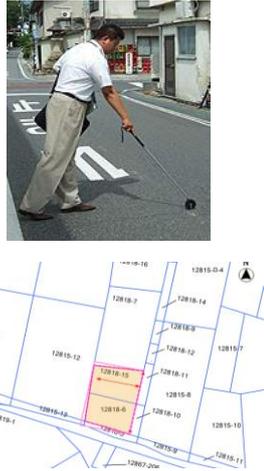
SDGs目標

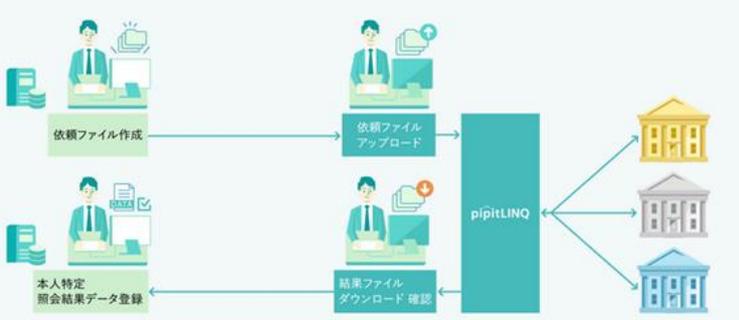
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

11 住み続けられるまちづくりを

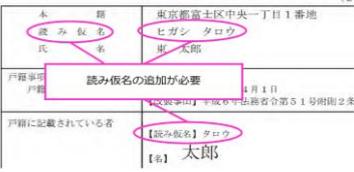
13 気候変動に具体的な対策を

○ 税務課

賦課徴収事業		総事業費：3,955万円	
		係名：課税係	
<p>固定資産税は、令和9年度に3年に1度の評価替を行います。令和7年度は、価格調査基準日となる令和8年1月1日時点で村内35地点の不動産鑑定を行います。不動産鑑定結果を元に土地に係る固定資産税の標準価格を算出します。近年、白馬村内の土地は場所を問わず取引が盛んであり、全体的に地価が上昇していることから、不動産鑑定は、一連の評価替業務の中でも重要な業務であり、長野県不動産鑑定士協会へ委託して行います。</p> <p>また、分筆、合筆、所有権移転により境界に変更があった土地については、改めて1画地の計測を行い税額を算出し直すなど、評価替に向けた準備作業を行います。</p>			
主な事業費		財源内訳	
土地鑑定評価委託料 土地評価替準備委託料	新規 261万円 55万円	村の負担（一般財源）	316万円
第5次総合計画基本目標 自立的・効率的で健全な行財政の村づくり		SDGs目標 11 住み続けられるまちづくりを	

債権回収事業		総事業費：399万円	
		係名：徴収係	
<p>預金調査システム（pipitLINQ）を利用して、金融機関等に対して電子データによる預貯金等照会を行います。</p> <p>滞納整理業務の基本である財産調査において、村から金融機関等への預貯金等照会は紙による依頼・回答を実施していました。</p> <p>上記システムを導入することにより、業務の効率化と照会事務の電子化によるゼロカーボンへの取組を図り、滞納処分へ多く時間を割くことで最終的には徴収率向上が期待できます。</p>			
主な事業費		財源内訳	
預金調査システム	新規 52万円	村の負担（一般財源）	52万円
第5次総合計画基本目標 安心・安全の生活を支える村づくり 自立的・効率的で健全な行財政の村づくり		SDGs目標 11 住み続けられるまちづくりを	

○ 住民課

戸籍住民基本台帳事業		総事業費：4,814万円	
<p>(1) 戸籍振り仮名法制化対応事業</p> <p>令和7年5月26日に施行される戸籍法の改正により、戸籍に振り仮名が記載されるようになります。</p> <p>改正後は、白馬村に本籍がある方に対して戸籍に記載する予定の振り仮名の通知をお送りします。</p> <p>通知がお手元に届き次第内容を確認いただき、記載する予定の振り仮名が誤っている場合と振り仮名は正しいが早期の戸籍への記載を希望される方は振り仮名の届出が必要になります。</p>		<p>係名：住民係</p> 	
<p>主な事業費</p> <p>戸籍情報システム改修業務 新規 68万円 振り仮名の法改正に伴う通知書作成業務 新規 244万円</p>		<p>財源内訳</p> <p>国支出金 312万円</p>	
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>安心・安全の生活を支える村づくり 自立的・効率的で健全な行財政の村づくり</p>		<p>SDGs 目標</p> <p>3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	

戸籍住民基本台帳事業		総事業費：4,814万円	
<p>(2) 証明書コンビニ交付事業</p> <p>マイナンバーカードをお持ちの方は、コンビニのマルチコピー機で住民票と印鑑証明書の発行ができます。</p> <p>手数料は250円で、住民課窓口で発行するよりも50円安くなっています。</p> <p>ご利用可能時間は、午前6時30分から午後11時00分までです。出先でも、お出かけ先のコンビニからご利用いただけます。</p>		<p>係名：住民係</p> 	
<p>主な事業費</p> <p>証明書コンビニ交付システム利用料 198万円 J-LIS運営負担金 69万円</p>		<p>財源内訳</p> <p>村の負担（一般財源） 267万円</p>	
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>安心・安全の生活を支える村づくり 自立的・効率的で健全な行財政の村づくり</p>		<p>SDGs 目標</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを 9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	

戸籍住民基本台帳事業		総事業費：4,814万円	
<p>(3) 戸籍の届出記念事業</p> <p>白馬村での婚姻や出生の届出が良い思い出となるよう、人生の節目を彩るお手伝いとして、記念写真を撮影するためのグッズや、白馬村オリジナルデザインの婚姻届、記念品等を作成します。</p>		<p>係名：住民係</p> 	
<p>主な事業費</p> <p>消耗品費 新規 39万円 印刷製本費 新規 4万円 備品購入費 新規 12万円</p>		<p>財源内訳</p> <p>村の負担（一般財源） 55万円</p>	
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>多様性を尊重し、住民が主体的に共生・協働する村づくり 安心・安全の生活を支える村づくり 一人ひとりに活躍の場がある村づくり</p>		<p>SDGs 目標</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを 3 すべての人に健康と福祉を</p>	

塵芥処理事業		総事業費：2億7,686万円	
【重点分野】気候変動・環境対策		係名：環境衛生係	
<p>白馬村では、平成30年度から大町市・小谷村と1市2村のごみ処理広域化へ移行しました。塵芥処理事業では、北アルプス広域連合へのごみ処理に関する負担金のほか、ごみの収集運搬処理費、ごみ減量化に関する費用等の費用を計上しています。経済活動の活発化に伴う事業系ごみの増加が課題として浮き彫りとなり、今まで以上にごみの減量化や資源化に取り組みます。</p>			
主な事業費		財源内訳	
北アルプス広域連合負担金	2億456万円	ふるさと基金繰入金	5,577万円
ごみの収集運搬処理委託費	4,704万円	利用者負担金等	254万円
最終処分(埋立)処理費	960万円	村の負担(一般財源)	2億366万円
生ごみ処理機購入補助金	77万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
きれいな水と空気に囲まれる村づくり			

公衆トイレ管理事業		総事業費：2,566万円	
【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進		係名：環境衛生係	
<p>南の玄関口佐野坂公衆トイレを昭和61年建築以来のリニューアル工事を実施します。</p> <p>屋根、外壁、設備の経年劣化が著しい設備を改修し、省エネ化（便器更新による節水・LED化等）及び長寿命化（屋根及び外壁の塗装）を図り、清潔で明るく誰もが利用しやすいトイレの整備を目指します。</p>			
主な事業費		財源内訳	
工事請負費	新規 1,634万円	ふるさと基金繰入金	164万円
		村の負担(村債)	1,470万円
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
きれいな水と空気に囲まれる村づくり			

○ 健康福祉課

老人福祉事業		総事業費：1,760万円
<p>高齢者の福祉の増進のため、長寿の祝い金の贈呈、敬老会の開催をします。また、自己の資力・労力では自宅の除排雪ができない高齢者世帯に対し、除雪支援員を派遣し、その費用の一部を村が負担することにより生活を支援します。</p> <p>なんらかの理由により居宅での養護を受けることが困難な高齢者については、施設入所での生活ができるよう村が扶助します。</p>		係名：福祉介護係 
主な事業費	敬老会の開催 149万円 100歳高齢者祝金贈呈 27万円 住宅除雪支援員の派遣 103万円 老人福祉施設措置費 1,481万円	財源内訳
	利用者負担金等 228万円 県支出金 45万円 村の負担（一般財源） 1,487万円	
第5次総合計画基本目標	安心・安全の生活を支える村づくり 支え合う福祉と健康の村づくり	SDG s 目標 

介護予防・地域支え合い事業		総事業費：1,989万円
<p>白馬村高齢者福祉計画の基本理念でもある「つながり 支え合う豊かな村づくり」を実現するため、また住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現のため、高齢者の健康づくりや生きがいづくりを推進するほか、在宅生活支援サービスの給付を行います。</p> <p>配食サービス事業については、対象者の所得要件のほか、介護者の負担軽減につながる制度へと見直しを図るほか、デイサービスセンター・岳の湯については特定建築物定期調査により指摘事項があったため補修を行うものです。</p>		係名：福祉介護係 
主な事業費	配食サービス 拡充 341万円 温浴施設利用助成 200万円 シニアクラブ活動助成 115万円 高齢者住宅改良助成 189万円 岳の湯外壁補修 新規 737万円	財源内訳
	利用者負担金等 146万円 県支出金 143万円 基金繰入金 737万円 村の負担（一般財源） 556万円	
第5次総合計画基本目標	安心・安全の生活を支える村づくり 支え合う福祉と健康の村づくり	SDG s 目標 

心身障害者福祉事業		総事業費：2億2,143万円
<p>心身に障がいや難病等がある方が自立した生活を営むことができるよう、障害者総合支援法、児童福祉法に規定される全国一律の内容の事業を実施し、障がいの程度や介護の必要度等によって、自立支援給付、児童福祉給付、自立支援医療給付、補装具給付等の障害福祉サービスを実施します。</p>		係名：福祉介護係 
主な事業費	自立支援給付 1億8984万円 児童福祉給付 2274万円 自立支援医療給付 152万円 補装具給付 156万円	財源内訳
	国・県支出金 1億6338万円 村の負担（一般財源） 5228万円	
第5次総合計画基本目標	一人ひとりに活躍の場がある村づくり	SDG s 目標 

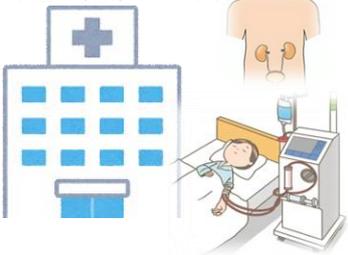
地域生活支援事業		総事業費：843万円	
係名：福祉介護係			
<p>心身に障がいや難病等がある方が自立した生活を営むことができるよう、村の方針に基づく柔軟な事業を実施し、地域の特性や利用者の状況に応じて、相談支援、移動支援、日常生活用具給付、日中一時支援等の障害福祉サービスを実施します。</p>			
主な事業費		財源内訳	
日常生活用具給付	180万円	国・県支出金	566万円
移動支援	31万円	村の負担（一般財源）	122万円
障がい者自立支援センター負担金	219万円		
日中一時支援	258万円		
第5次総合計画基本目標 一人ひとりに活躍の場がある村づくり		SDGs目標	
			

保健福祉ふれあいセンター維持管理事業		総事業費：1,637万円	
係名：福祉介護係			
<p>保健福祉ふれあいセンターの維持管理を行います。 令和6年度から2か年計画で実施している空調設備の導入については、福祉基金を活用し2階部分を施工します。</p>			
主な事業費		財源内訳	
空調設備の導入	1,085万円	基金繰入金	1,085万円
第5次総合計画基本目標 支え合う福祉と健康の村づくり		SDGs目標	
			

介護保険事業		総事業費：1億8,956万円	
係名：地域包括支援センター			
<p>介護保険事業の保険者である北アルプス広域連合への運営負担金で、市町村負担分を構成市町村毎の人口等に応じ負担しています。 令和7年度は、介護保険システム移行導入経費、虹の家運営負担金分が増額となっています。</p>			
主な事業費		財源内訳	
①介護保険事業負担金	1億8,290万円	国・県支出金	658万円
②虹の家運営費負担金	新規 427万円	村の負担（一般財源）	1億8,296万円
③低所得者保険料軽減負担金	237万円		
第5次総合計画基本目標 支え合う福祉と健康の村づくり		SDGs目標	
			

地域包括支援センター・地域支援事業		総事業費：5,029万円	
<p>白馬村地域包括支援センターは、高齢者の総合相談窓口として、介護保険、介護予防・権利擁護などの様々な相談に対応しています。保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などの専門職が配置され、これらの専門職が連携して、それぞれの専門性を活かしながらチームを組んで業務を行っています。</p> <p>また、高齢者の方ができる限り元気に過ごすための介護予防や重症化予防事業、認知症施策、地域の支え合い活動などに取り組んでいます。</p>		係名：地域包括支援センター 	
主な事業費 人件費負担金 1,468万円 一般介護予防委託料 482万円 予防ケア補助金等委託料 263万円		財源内訳 諸収入（受託事業収入） 1,727万円 諸収入（介護給付金） 420万円 利用者負担金等 66万円	
第5次総合計画基本目標 支え合う福祉と健康の村づくり		SDGs目標 	

保健予防事業		総事業費：5,013万円	
<p>第3期白馬村健康増進計画の最終的な目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を目指し、がんの早期発見のための「がん検診事業」と、生活習慣病予防のための「若年・後期高齢者健診事業」等を推進し、村民の健康を守るため各種検診を実施します。</p> <p>感染症予防、重症化予防の観点から国の予防接種の基準に沿って定期接種を実施します。新たに令和7年4月1日から带状疱疹ワクチンが定期接種化（B類疾病）となるため、対象者に対して実施していきます。（地方交付税措置1/3）</p>		係名：健康づくり係 	
主な事業費 がん検診事業 965万円 その他の検診事業 512万円 高齢者带状疱疹予防接種事業 新規 352万円 その他的高齢者予防接種事業 1,366万円		財源内訳 諸収入等 250万円 利用者負担金等 287万円 村の負担（一般財源） 2,658万円	
第5次総合計画基本目標 安心・安全の生活を支える村づくり 支え合う福祉と健康の村づくり		SDGs目標 	

医療対策事業		総事業費：757万円	
<p>大北医療圏のように小規模医療圏においても、住み慣れた地域で、良質で最適な医療サービスの提供がなされるため、広域的医療体制に対する負担金です。</p> <p>大北北部地域で唯一の透析施設の維持・存続のため、北アルプス医療センターあづみ病院白馬診療所に対して、透析設備更新のための助成を耐用年数の7か年に分割して行います。（総事業費の1/3を助成、小谷村と折半）</p>		係名：健康づくり係 	
主な事業費 北アルプス広域連合負担金 584万円 医療機関等助成金 新規 146万円		財源内訳 村の負担（一般財源） 730万円	
第5次総合計画基本目標 安心・安全の生活を支える村づくり 支え合う福祉と健康の村づくり		SDGs目標 	

○ 農政課

農業振興事業		総事業費：3,346万円	
<p>【重点分野】 農林業の振興 地域計画や目標地図の策定、優良農地の確保（ほ場整備）に伴い、農業振興地域の見直しを行います。そのため、地図、台帳、現地との整合性を図ります。</p> <p>「大きい農業」と「小さい農業」の振興に向けて、認定農業者を対象とした農業機械等導入支援補助事業や一般農家を対象とした電動草刈機等購入の補助金事業を拡充します。</p> <p>有機農業振興のために、有機JAS認定農家を対象とした経費補助金事業を継続し、農業振興地域に有機無農薬エリアを設定します。</p> <p>広域的な獣害対策として、有害鳥獣被害対策防止協議会を通じて、捕獲システム等の導入や電気柵の設置事業等を拡充します。 小規模農家の獣害対策支援として、獣害による営農意欲低下を防ぐため、個人設置の電気柵設置補助事業や貸出委託事業を拡充します。【有害鳥獣被害対策事業から一部科目替え】</p>		<p>係名：農林係</p>      	
主な事業費		財源内訳	
会計年度任用職員報酬	118万円	県支出金	824万円
農業機械等導入等支援補助金 拡充	500万円	ふるさと基金繰入金	750万円
電動草刈機等購入補助金 拡充	100万円	村の負担（一般財源）	195万円
有機JAS認定経費負担金	5万円		
有害鳥獣被害防止対策事業負担金 拡充	825万円		
電気柵設置補助金、貸出設置委託金 拡充	221万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
農地と森を守り地産を活かす村づくり 商工業の振興により雇用を生みだす村づくり 民間活力を活かす村づくり 安心・安全の生活を支える村づくり			

ほ場整備事業		総事業費：3,344万円	
<p>【重点分野】 農林業の振興</p> <p>耕作者の高齢化や後継者不足により遊休農地となる恐れがある農地を担い手に集積・集約化し生産効率を高め、様々な作物の生産に合わせた農地をつくるためにほ場整備事業を実施します。</p> <p>令和7年度は、北城南部地区において第4工区の工事、一部農道の舗装を実施します。また、北城北部地区においては、事業採択に必要な実施計画の策定、換地計画概要書の作成を行います。</p> <p>■北城南部地区全体整備面積 50.8ha ■北城北部地区整備予定面積 32.0ha</p>		<p>係名：土地改良係</p>  	
主な事業費		財源内訳	
北城南部地区負担金（北城北部地区）	3,150万円	利用者負担金等	2,250万円
換地計画概要書作成業務委託料	94万円	ふるさと基金繰入金	283万円
実施計画策定業務	100万円	村の負担（村債）	810万円
		村の負担（一般財源）	1万円
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
農地と森を守り地産を活かす村づくり			

産地づくり対策事業		総事業費：147万円	
【重点分野】農林業の振興 白馬村農業再生協議会を通じて、そばや園芸品目などの産地づくりを継続します。 J A大北園芸部会を通じた園芸作物の振興、紫米生産者への支援、有機JAS認定取得者への支援を実施します。		係名：農林係    	
主な事業費 産地づくり対策負担金 100万円 紫米生産者支援負担金 10万円 有機JAS認定者支援負担金 20万円		財源内訳 村の負担（一般財源） 130万円	
第5次総合計画基本目標 農地と森を守り地産を活かす村づくり 商工業の振興により雇用を生みだす村づくり 民間活力を活かす村づくり		SDG s 目標    	

特産品事業		総事業費：172万円	
【重点分野】農林業の振興 「紫米」は平成3年から生産された村を代表する特産品です。近年は8月に品切れになるほどの人気がありますが、栽培者が減少しています。今後も継続して生産するために、紫米専用の農業機械を購入します。 白馬のお米は「お米日本一コンテスト in しずおか」や「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で特別最高金賞や特別優秀賞を受賞しています。これは“白馬の米のおいしさ”の証明であり、そのためにコンテスト等のエントリー費補助や特産品開発のための補助を継続して行います。		係名：農林係  	
主な事業費 紫米農業機械購入費 新規 25万円 特産品開発団体支援補助金 66万円		財源内訳 ふるさと基金繰入金 25万円 村の負担（一般財源） 66万円	
第5次総合計画基本目標 農地と森を守り地産を活かす村づくり 民間活力を活かす村づくり 自然との生き方を受け継ぐ村づくり		SDG s 目標    	

青年就農給付金交付事業		総事業費：420万円	
【重点分野】農林業の振興 次世代の農業を担う新規就農者の経営確立を支援するための事業です。 国の「新規就農者育成総合対策事業」に基づき、原則50歳未満で独立・自営就農する認定新規就農者に対し、年間最大150万円を最長3年間交付します。 基幹的農業従事者人口は、人口減少や高齢化、定年延長などの複数の要因により激減することが予想されています（H22：294人、R2：158人、R17：65人）。そのため、若い農業者の育成が必要です。		係名：農林係   	
主な事業費 青年就農給付金交付 420万円		財源内訳 県支出金 420万円	
第5次総合計画基本目標 農地と森を守り地産を活かす村づくり 商工業の振興により雇用を生みだす村づくり 自然との生き方を受け継ぐ村づくり		SDG s 目標    	

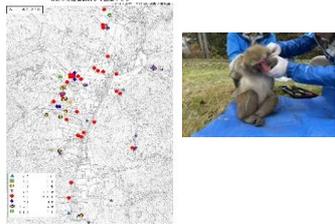
多面的機能支払交付金事業		総事業費：3,529万円	
【重点分野】農林業の振興 農業の多面的機能の維持・発揮のための活動を行う地域の活動組織を支援する事業です。		係名：土地改良係  水路の目地補修の様子	
支援内容 (1) 農地維持支払…農地や水路の基礎的保全活動を支援（畦草刈や水路の泥上げ等） (2) 資源向上支払…水路等施設の補修や農道の舗装、農村環境保全活動を支援 保全対象農地 約480ha			
主な事業費		財源内訳	
補助金	3,399万円	国・県支出金	2,515万円
（農地維持支払	1,405万円）	ふるさと基金繰入金	980万円
（資源向上支払	1,994万円）	村の負担（一般財源）	4万円
村単交付金	100万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
農地と森を守り地産を活かす村づくり			

村単土地改良事業		総事業費：6,680万円	
【重点分野】農林業の振興		係名：土地改良係 	
(1) 取水口の点検や土砂の撤去などの維持管理に努め、かんがい・防火用水を安全に地域へお届けします。 (2) 天災や改良工事に伴う農地災害復旧、水路維持修繕、農道維持修繕工事など農業施設の維持保全を行います。 (3) 地域が行う農地・農業用施設の修繕に必要な（U字溝、碎石、水路蓋など）原材料を支給します。			
主な事業費		財源内訳	
測量設計委託料	681万円	ふるさと基金繰入金	181万円
重機借上料・工事請負費	5,478万円	村の負担（村債）	5,480万円
原材料費	50万円	村の負担（一般財源）	870万円
補助金	322万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
農地と森を守り地産を活かす村づくり			

森林病虫害防除事業		総事業費：304万円	
【重点分野】気候変動・環境対策		係名：農林係  	
県の森林病虫害等防除事業を活用し、カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害対策を実施します。これにより被害の拡散防止、森林の多面的機能の発揮に貢献します。 被害木の伐倒くん蒸処理と予防薬の樹幹注入を実施します。			
主な事業費		財源内訳	
被害木伐倒委託料等	304万円	県支出金	228万円
拡充		村の負担（一般財源）	76万円
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり 自然との生き方を受け継ぐ村づくり 美しい景観を守り育む村づくり			

林業振興・林道維持補修事業		総事業費：583万円	
【重点分野】農林業の振興 林道細野線の安全確保のため、土留め柵の改修工事や老朽化したガードケーブルなどの撤去を行います。 所有者に対して森林や立木管理を促すため、支障木や森林病害虫被害木の伐採に対する補助金（上限10万円/1施業）と、病害虫防除のための薬剤購入に対する補助金（補助率1/2、上限2万円）を創設します。 林野庁との分収林契約満了に伴い、官行造林（嶺方・堀之内）の分収を実施します。		係名：農林係 	
主な事業費 林道細野線工事請負費 144万円 支障木・森林病害虫等防除補助金 新規 250万円 白馬村官行造林分収負担金 新規 95万円		財源内訳 ふるさと基金繰入金 394万円 村の負担（一般財源） 95万円	
第5次総合計画基本目標 かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり 自然との生き方を受け継ぐ村づくり 安心・安全の生活を支える村づくり		SDGs目標 	

森林整備事業		総事業費：710万円	
【重点分野】農林業の振興 県の森林整備支援事業補助金を活用して、緩衝帯整備とナラ枯れ枯損木利活用事業（チップ化）を実施します。これにより、森林景観の保全や野生鳥獣の出没がしにくい環境の整備を行います。併せて、事業や集落支援で発生した残材を住民に配布し、木材の有効活用を図ります。 また、国や県の制度に基づく切捨・搬出間伐を実施した林業事業体には、村の嵩上げ補助を行っています。 “伐採・植栽サイクル”を促進するため、新たに皆伐施業を対象とします。		係名：農林係 	
主な事業費 緩衝帯整備事業委託料 99万円 ナラ枯れ枯損木利活用事業委託料 拡充 426万円 森林整備嵩上げ補助金 拡充 175万円 白馬村林業経営者協会補助金 10万円		財源内訳 県支出金 473万円 ふるさと基金繰入金 175万円 利用者負担金等 3万円 村の負担（一般財源） 59万円	
第5次総合計画基本目標 かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり 自然との生き方を受け継ぐ村づくり		SDGs目標 	

有害鳥獣被害対策事業		総事業費：404万円	
【重点分野】農林業の振興 人身被害と農作物被害を防ぐため、鳥獣被害対策実施隊の活動を支援します。また、職員によるパトロールや地域住民がロケット花火や爆竹等で追い払うことにより、里に有害鳥獣が近づきにくい環境を整えます。 近年、里でのクマ目撃情報が多いため捕獲檻を購入します。また、サルによる農作物被害も増加傾向のため、捕獲したサルへGPSを装着して群れの動向を把握し、捕獲に繋がります。		係名：農林係 	
主な事業費 鳥獣被害対策実施隊員報酬 54万円 有害鳥獣駆除委託料 201万円 ツキノワグマ捕獲檻購入費 6万円		財源内訳 村の負担（一般財源） 261万円	
第5次総合計画基本目標 安心・安全の生活を支える村づくり 自然との生き方を受け継ぐ村づくり		SDGs目標 	

森林経営管理制度推進事業

総事業費：1,323万円

【重点分野】農林業の振興

係名：農林係

国の森林環境譲与税や県の森林税を活用した事業に取り組みます。

(1) 森林整備

森林内の森林病害虫処理や内山地区の森林整備を実施します。

(2) 林業の啓発

林業は持続可能な循環産業であることを啓発するため、ナラ枯れ被害材を活用して木材加工品を製作し、公共施設に設置します。

(3) スマート林業

森林整備の準備として、ドローンを活用して境界の明確化を図ります。

(4) ゼロカーボン推進

遊歩道などの支障木や老齢木の伐採跡に植栽を行い、二酸化炭素（CO2）を吸収する取組を実施し、ゼロカーボンを推進します。

(5) 木質バイオマス活用

薪ストーブ・ペレットストーブの導入予定者（個人・法人）に対し、補助金（補助率10/10、上限10万円）を交付します。



主な事業費

ナラ枯れ防除対策、内山地区森林整備事業委託料	拡充	601万円
木材加工等委託料		50万円
境界明確化委託料	新規	100万円
遊歩道等整備委託料	拡充	193万円
薪・ペレットストーブ購入補助金	拡充	90万円

財源内訳

国支出金	1,002万円
県支出金	23万円
村の負担（一般財源）	9万円

第5次総合計画基本目標

かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり
自然との生き方を受け継ぐ村づくり
安心・安全の生活を支える村づくり

SDGs目標



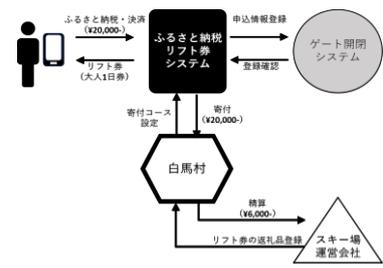
地籍調査事業		総事業費：2,741万円	
<p>国土調査法に基づき、土地一筆ごとに所有者・地目・地番を調査し、境界の確認と測量を行って現況に即した地籍図・地籍簿をつくる事業です。</p> <p>令和7年度は、令和5年度から調査している大出地区南部と、昨年度から調査している大出地区北西部の調査を継続して実施します。</p>		<p>係名：国土調査係</p>  <p style="text-align: center;">境界確認の様子</p>	
主な事業費		財源内訳	
測量業務委託料 システム等リース料 調査に係る消耗品費	1,215万円 96万円 48万円	県支出金 村の負担（一般財源）	848万円 511万円
第5次総合計画基本目標 安心・安全の生活を支える村づくり		SDGs目標	
			

○ 観光課

デマンドタクシー運行事業		総事業費：5,959万円	
【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進 係名：観光商工係			
<p>令和7年度も日中の通年運行で「ふれAI号」、夜の運行は冬期限内で「HND（ハクバナイトデマンドタクシー）」を運行します。令和6年度から、観光交通として利用率の高かった「AIオンデマンドタクシー」と福祉交通のふれ愛号を統合し、公共交通「ふれAI号」として通年運行を開始しています。</p>			
主な事業費		財源内訳	
運行委託料	拡充 5,335万円	村の負担（一般財源）	4,072万円
システム使用料	拡充 449万円	ふるさと基金繰入金	949万円
オペレーター等	拡充 106万円	利用者負担金等	938万円
その他の経費	拡充 69万円		
第5次総合計画基本目標 「世界水準」を意識した観光の村づくり		SDGs 目標	
			

山岳観光施設維持補修事業		総事業費：5,510万円	
【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進 係名：観光商工係			
<p>通年型マウンテンリゾートの構築に向けた競争力と、持続可能性を高める観光地経営の取組を推進するため、村営八方池山荘の建替えに係る官民連携事業アドバイザー業務（フェーズⅢ）を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェーズⅠ：PFI導入可能性調査業務 R5実施 ・フェーズⅡ：事業条件検討・公募支援業務 R6実施 ・フェーズⅢ：事業者選定・会議運営支援業務 R7実施 			
主な事業費		財源内訳	
官民連携事業アドバイザー業務	拡充 3,652万円	村の負担（一般財源）	152万円
		ふるさと基金繰入金	3,500万円
第5次総合計画基本目標 「世界水準」を意識した観光の村づくり		SDGs 目標	
			

21 観光戦略事業		総事業費：7,170万円	
【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進 係名：観光商工係			
<p>令和7年度に現在の観光地経営計画の計画期間が満了します。令和8年度からは「観光地経営ビジョン」と名を改め、JSTS-Dに準拠したビジョンを策定します。また、観光地経営会議は、白馬村宿泊税の審議組織としての役割を担うため、用途に関する評価方法についても議論します。</p>			
主な事業費		財源内訳	
観光地経営会議運営業務	拡充 385万円	村の負担（一般財源）	50万円
観光地経営会議委員報酬等	拡充 50万円	ふるさと基金繰入金	385万円
第5次総合計画基本目標 「世界水準」を意識した観光の村づくり		SDGs 目標	
			

デジタル田園都市国家構想交付金事業		総事業費：5,000万円
<p>【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進 係名：観光商工係</p> <p>本事業はデジタル田園都市国家構想交付金地方創生推進タイプを活用した事業になります。</p> <p>令和7年度は2年目となり、令和6年度に立ち上げた「マイ・ポータル」に機能追加や改善、使用するための利便性を向上させる仕組みを追加し、利用を拡大します。また広域連携を本格的に実施するための「広域連携dvプラットフォーム」を構築します。</p> <p>また、白馬村観光局を中心に従来より段階的に進めている、白馬DXポータルとの連携により、地域のDX化、資金・データの村内循環を推進、「日本一DX化が進んだ山岳リゾート」として地域主導での観光の持続的発展を目指します。</p>		
		
主な事業費	財源内訳	
交付金事業負担金 新規 5,000万円	国支出金 2,200万円 ふるさと基金繰入金 1,100万円 村の負担（一般財源） 1,100万円 諸収入等 600万円	
第5次総合計画基本目標 「世界水準」を意識した観光の村づくり	SDGs目標	

山岳観光施設維持補修事業		総事業費：5,510万円
<p>【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進 係名：観光商工係</p> <p>山岳観光施設の整備を実施します。</p> <p>八方尾根自然研究路は木道で整備されましたが、腐食が進行しています。これを石張りに改修し、登山者や観光客の安全確保と、維持管理の効率化を図ります。また、石張りにすることで人工物を自然に設置することなく環境に配慮した研究路とし、持続可能な山岳観光を推進します。</p>		
		
主な事業費	財源内訳	
工事請負費 新規 431万円	村の負担（村債） 380万円 村の負担（一般財源） 51万円	
第5次総合計画基本目標 かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり	SDGs目標	

○ 建設課

道路維持補修事業		総事業費：3,545万円	
<p>【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進 係名：建設係</p>			
<p>道路を安全に利用いただくために、村道補修や側溝等の修繕工事を行うほか、行政区の自発的な活動を支援するため、必要な資材等の提供を行います。</p>			
主な事業費		財源内訳	
維持補修工事費	1,900万円	村の負担（一般財源）	2,590万円
行政区への資材支給費	700万円	財産収入	706万円
道路照明等の電気料	210万円		
倒木除草等の作業委託料 拡充	410万円		
その他施設の管理委託料	76万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs 目標	
<p>「世界水準」を意識した観光の村づくり 安心・安全の生活を支える村づくり</p>			

除雪事業・除雪機械整備事業		総事業費：3億1,209万円	
<p>【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進 係名：建設係</p>			
<p>冬期の車両及び歩行者の安全な通行確保のための道路除雪、無散水消雪施設等の維持管理を行い、充実した住民サービス・観光サービスを提供します。また、円滑な除雪を行うため、除雪機械1台を増設します。</p>			
主な事業費		財源内訳	
除雪委託料 拡充	2億5,190万円	国支出金	3,930万円
凍結防止剤購入費	936万円	県支出金	100万円
消雪施設等電気料	760万円	村の負担（一般財源）	2億3,252万円
除雪車両車検点検手数料	396万円	村の負担（村債）	2,000万円
除雪機械購入費 拡充	2,000万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs 目標	
<p>「世界水準」を意識した観光の村づくり 安心・安全の生活を支える村づくり</p>			

村道改良国庫補助事業		総事業費：2,132万円	
<p>【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進 係名：建設係</p>			
<p>村道を長く安全にご利用いただけるよう、定期的に橋梁やトンネルの点検を行い、点検結果に基づいて必要箇所の修繕を行っています。 この事業は主な財源として国からの補助金を充てて行われます。</p>			
主な事業費		財源内訳	
橋梁等点検・設計委託料等	1,110万円	国支出金	1,130万円
橋梁修繕等工事費	1,000万円	村の負担（村債）	390万円
		村の負担（一般財源）	590万円
第5次総合計画基本目標		SDGs 目標	
<p>「世界水準」を意識した観光の村づくり 安心・安全の生活を支える村づくり</p>			

道路改良起債事業		総事業費：1億円	
【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進		係名：建設係	
<p>道路を利用されるすべての皆様が、安全に道路を通行いただけるよう、傷んだ舗装の修繕や無散水消雪施設の更新を行っています。この事業は、村債を主な財源として行われます。</p>			
主な事業費		財源内訳	
舗装修繕等工事費 工事設計監理委託料	9,962万円 38万円	村の負担（村債） 村の負担（一般財源）	9,990万円 10万円
第5次総合計画基本目標 「世界水準」を意識した観光の村づくり 安心・安全の生活を支える村づくり		SDGs目標	
			

白馬村ゼロエネ住宅普及支援事業		総事業費：60万円	
【重点分野】気候変動・環境対策		係名：土地利用・建築係	
<p>“豊かな住環境の維持向上”及び“住宅分野での脱炭素化”を目的として、国及び長野県が実施している補助事業を利用し、住宅の新築及び省エネ改修を行った住宅について、工事費の一部を追加補助します。（1件につき上限30万円）</p>			
主な事業費		財源内訳	
支援事業補助金	60万円	ふるさと基金繰入金	60万円
第5次総合計画基本目標 安心・安全の生活を支える村づくり		SDGs目標	
			

都市計画事業		総事業費：256万円	
【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進		係名：土地利用・建築係	
<p>“良好な景観づくり”を目的として、新築・改築物件等が、白馬村景観計画で定める基準に適合しているか、無届案件が無いかな等を、パトロールにより現地確認を行います。</p>			
主な事業費		財源内訳	
景観パトロール委託料	100万円	ふるさと基金繰入金	100万円
第5次総合計画基本目標 美しい景観を守り育む村づくり		SDGs目標	
			

○上下水道課

合併処理浄化槽設置整備事業		総事業費：1,532万円	
【重点分野】 気候変動・環境対策		係名：管理係	
<p>下水道処理区域外の自然環境保護・住環境改善のため、従来の浄化槽や便槽に比べて汚水処理能力に優れる合併処理浄化槽を設置する方に補助を行います。</p>			
主な事業費		財源内訳	
合併処理浄化槽補助金	1,532万円	国支出金	511万円
		県支出金	511万円
		ふるさと基金繰入金	510万円
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
安心・安全の生活を支える村づくり			

○ 子育て支援課

放課後子どもプラン事業		総事業費：1,411万円	
【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進 (1)放課後児童クラブ 共働き家庭等の小学生を対象に、学校の授業終了後、適切な遊び及び生活の場を提供し、健全な育成を図ります。 (2)放課後子ども教室 小学生の放課後の居場所を設け、異年齢間交流や地域の方々との参画を図って、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を行います。		係名：子育て支援係 	
主な事業費 指導員等人件費 1,348万円 消耗品費 15万円 AED借上料 8万円		財源内訳 国・県支出金 694万円 利用者負担金等 152万円 村の負担（一般財源） 525万円	
第5次総合計画基本目標 支え合う福祉と健康の村づくり		SDGs目標 	

児童手当等給付事業		総事業費：2億8,613万円	
【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進 (1)私立幼稚園運営補助金 3歳未満児の待機児童解消に向けた取組として、2歳児を受け入れる白馬幼稚園に対して、補助を行います。 (2)施設型給付事業・地域型保育給付事業 村が認定した施設（信学会白馬幼稚園、Familia Hakuba、サンライズキッズ保育園）に対して、財政支援を行う事業です。 (3)児童手当給付事業 高等学校卒業までの児童を養育している保護者に年齢に応じて手当を支給する事業です。		係名：子育て支援係 	
主な事業費 私立幼稚園運営補助金 300万円 児童手当 1億5,846万円 施設型・地域型保育給付費 1億2,381万円		財源内訳 国・県支出金 1億6,473万円 ふるさと基金繰入金 4,800万円 村の負担（一般財源） 7,254万円	
第5次総合計画基本目標 支え合う福祉と健康の村づくり		SDGs目標 	

子育て支援事業		総事業費：3,784万円	
【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進 「白馬村こども家庭センター」として母子保健と児童福祉の両機能を一体的に行っています。妊娠期から18歳までの子育て期をコーディネーター（母子保健・子育て）・保健師・相談員・保育士がサポートします。ニーズや状況に応じて利用可能なサービス等の情報提供、相談や助言をしたり、各園・学校へ訪問して連携を図っています。 家庭や学校で課題を抱える子ども達が安心して過ごせる場所として、令和6年12月「子ども第三の居場所」がオープンしました。		係名：子育て支援係 	
主な事業費 職員人件費 1,358万円 病児保育運営事業負担金 65万円 子ども第三の居場所事業 2,160万円 園オムツ処分費 新規 80万円		財源内訳 国・県支出金 738万円 諸収入等 1,440万円 ふるさと基金繰入金 788万円 村の負担（一般財源） 698万円	
第5次総合計画基本目標 安心・安全の生活を支える村づくり 支え合う福祉と健康の村づくり		SDGs目標 	

はくばっ子応援交付金事業		総事業費：232万円	
【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進 子育て世帯へのお祝い金事業を実施します。 (1)多子世帯出産応援給付金 第3子以降を養育している保護者に対し、給付金を支給します。 （第3子2万円、第4子以降4万円） (2)はくばっ子応援給付金事業 小学校入学時と小・中学校卒業時の節目に、対象児童を養育している保護者に対し、給付金を1人1万円を支給します。		係名：母子健康係 	
主な事業費		財源内訳	
多子世帯出産祝金	22万円	ふるさと基金繰入金	232万円
入学卒業祝金	210万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
支え合う福祉と健康の村づくり		3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 	

母子健康事業		総事業費：4,433万円	
【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進 妊娠期から出産期、子育て期における切れ目ない支援の充実を図ります。健診や予防接種などを実施し、こどもが健康に育つよう支援します。 令和7年度から、1か月児健康診査の費用を公費で負担します。 また、妊婦の経済的負担を軽減するために、妊婦に対する遠方の分娩取扱施設への交通費及び宿泊費を助成します。		係名：母子健康係 	
主な事業費		財源内訳	
健診等委託料	1,214万円	国・県支出金	96万円
医薬材料費	799万円	ふるさと基金繰入金	129万円
小児科オンライン等利用料	119万円	村の負担（一般財源）	2,064万円
妊婦健診等補助金	54万円		
不妊治療補助金	103万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
支え合う福祉と健康の村づくり		3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 	

母子保健衛生事業		総事業費：607万円	
【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進 すべての妊婦と子育て家庭が安心して出産・子育てできるように、妊婦相談、産後健診、産後ケア、母乳相談等を実施し、「子育ての始まり期」を応援します。併せて経済的な支援（出産・子育て応援交付金の支給）を行います。 令和7年度から、産後ケア利用料は、従来の8割補助に加え、1回につき上限2,500円を補助します。出産後の母子が心身のケアや育児サポート等を利用しやすいように、支援の拡充を図ります。		係名：母子健康係 	
主な事業費		財源内訳	
出産・子育て応援交付金	450万円	国・県支出金	551万円
産後ケア事業等委託料	80万円	村の負担（一般財源）	24万円
産婦健診等委託料	45万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
支え合う福祉と健康の村づくり		3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 	

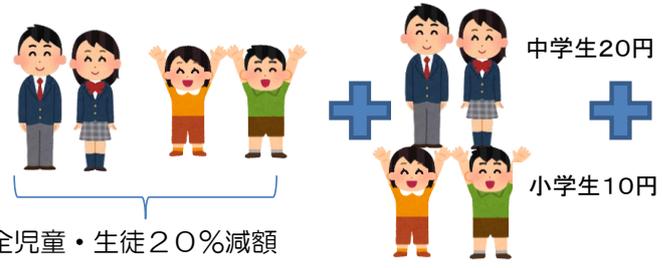
子育て支援施設建設事業		総事業費：4,235万円	
【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進		係名：子育て支援係	
<p>令和6年度に建設方針が決まった、図書館等複合施設の第1段階として、子育て支援施設の建設について、令和7年度から本格的に着手します。</p> <p>令和7年度は、施設の設計を行い令和10年度開園に向けて準備を進めていきます。</p>		 <p>支援ルームから見た北アルプスの山々</p>	
<p>主な事業費</p> <p>施設建設設計委託料 新規 4,235万円</p>		<p>財源内訳</p> <p>村の負担（村債） 3,810万円 ふるさと基金繰入金 320万円 村の負担（一般財源） 105万円</p>	
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>支え合う福祉と健康の村づくり</p>		<p>SDGs目標</p> <p>1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを</p> 	

しろうま保育園運営事業		総事業費：1億8,678万円	
【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進		係名：しろうま保育園	
<p>安心して預けていただけるようセキュリティを強化し、保育施設・設備の安全点検や整備、保育士の確保・保育の質の向上、旬の食材を使ったおいしい給食の提供等に努めます。</p> <p>また、保育や保育士の仕事の魅力を知ってもらい広めるため、職場体験や保育実習、白馬高校生の延長保育補助員の受け入れ等を積極的に行います。</p> <p>ICT化の導入により、子どもと向き合う時間とゆとりを持ち、より良い保育を目指します。</p>			
<p>主な事業費</p> <p>保育士等人件費 1億4,346万円 コドモンシステム導入費 新規 1,790万円 玄関セキュリティ工事 新規 117万円</p>		<p>財源内訳</p> <p>国・県支出金 995万円 村の負担（村債） 800万円 諸収入等 1,293万円 村の負担（一般財源） 1億3,165万円</p>	
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>支え合う福祉と健康の村づくり</p>		<p>SDGs目標</p> <p>3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを</p> 	

子育て支援ルーム事業		総事業費：2,307万円	
【重点分野】子育て支援の推進		係名：子育て支援ルーム	
<p>乳幼児と保護者のための子育て拠点として、様々な活動を行い子育てを応援します。保護者が子どもと離れてリフレッシュできる講座の開催や親子で楽しめる色々な活動を実施して親子の絆を深められるようにサポートします。</p> <p>一時預かり事業では、生後6か月を過ぎたお子さんの受け入れを実施し、保護者が少しでもリフレッシュして、お子さんと向き合えることができるように支援を拡充します。</p>			
<p>主な事業費</p> <p>保育士人件費 2,007万円 講師謝礼費 21万円</p>		<p>財源内訳</p> <p>国・県支出金 747万円 利用者負担金等 139万円 村の負担（一般財源） 1,142万円</p>	
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>支え合う福祉と健康の村づくり</p>		<p>SDGs目標</p> <p>3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 11 住み続けられるまちづくりを</p> 	

○ 教育課

学校環境整備事業・南北小学校教育振興事業		総事業費：9,653万円																			
<p>【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進</p> <p>GIGAスクール構想により実現した1人1台端末の計画的な更新を進めます。</p> <p>令和6年度から3か年かけて予算を平準化して更新します。令和7年度は更新2年目になります。対象は、中学校1学年分と小学校2学年分のタブレット更新で、小学校には新たに授業支援ソフトやデジタルドリルも導入します。</p> <p>学校施設ではチャイムなど学校内放送機器の更新も行います。</p> <p>また小中学生にスノースポーツに親しむ機会を提供するため、村が一部費用を負担している小中学生のスキーリフト無償化も継続します。</p>		<p>係名：教育係</p>  <p>児童生徒用タブレット更新</p>  <p>学校内放送機器の更新</p>  <p>スキーリフトの無償化</p>																			
<p>主な事業費</p> <table border="1"> <tr> <td>パソコンソフト使用料</td> <td>新規</td> <td>65万円</td> </tr> <tr> <td>校内放送機器更新工事費</td> <td>新規</td> <td>299万円</td> </tr> <tr> <td>タブレット購入費</td> <td>新規</td> <td>1,331万円</td> </tr> <tr> <td>スキー場利用負担金</td> <td>拡充</td> <td>239万円</td> </tr> </table>		パソコンソフト使用料	新規	65万円	校内放送機器更新工事費	新規	299万円	タブレット購入費	新規	1,331万円	スキー場利用負担金	拡充	239万円	<p>財源内訳</p> <table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>678万円</td> </tr> <tr> <td>ふるさと基金繰入金</td> <td>1,082万円</td> </tr> <tr> <td>村の負担（一般財源）</td> <td>174万円</td> </tr> </table>		国・県支出金	678万円	ふるさと基金繰入金	1,082万円	村の負担（一般財源）	174万円
パソコンソフト使用料	新規	65万円																			
校内放送機器更新工事費	新規	299万円																			
タブレット購入費	新規	1,331万円																			
スキー場利用負担金	拡充	239万円																			
国・県支出金	678万円																				
ふるさと基金繰入金	1,082万円																				
村の負担（一般財源）	174万円																				
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>学びあい育てあう村づくり</p>		<p>SDGs目標</p>  <p>4 質の高い教育をみんなに</p>																			

学校給食センター事業		総事業費：1億2,225万円																	
<p>【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進</p> <p>全国で給食費負担金の無償化を採用する市町村が増えており、近隣市町村でも無償化や半額補助をしています。村では、半額補助に準じた補助に近づけるため、令和7年度から保護者負担金を20%減額します。</p> <p>また3人目以降の給食費の無償化、地産地消と物価高騰対策として材料費の上乗せを継続します。また扶助費で就学援助費で給食費分も支出しており、それらを合わせると賄材料費の約40%が一般会計での負担となります。</p>		<p>係名：給食保健係</p>																	
 <p>全児童・生徒20%減額 676万円</p> <p>中学生20円 小学生10円 201万円</p> <p>第3子以降無料 327万円</p> <p>準要保護援助費 特別教育就学奨励費 640万円</p>		<p>主な事業費</p> <table border="1"> <tr> <td>賄材料費</td> <td>拡充</td> <td>4,594万円</td> </tr> <tr> <td>扶助費（準要保護援助費等）</td> <td></td> <td>640万円</td> </tr> </table>		賄材料費	拡充	4,594万円	扶助費（準要保護援助費等）		640万円	<p>財源内訳</p> <table border="1"> <tr> <td>利用者負担金等</td> <td>3,390万円</td> </tr> <tr> <td>国支出金</td> <td>23万円</td> </tr> <tr> <td>ふるさと基金繰入金</td> <td>1,364万円</td> </tr> <tr> <td>村の負担（一般財源）</td> <td>457万円</td> </tr> </table>		利用者負担金等	3,390万円	国支出金	23万円	ふるさと基金繰入金	1,364万円	村の負担（一般財源）	457万円
賄材料費	拡充	4,594万円																	
扶助費（準要保護援助費等）		640万円																	
利用者負担金等	3,390万円																		
国支出金	23万円																		
ふるさと基金繰入金	1,364万円																		
村の負担（一般財源）	457万円																		
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>学びあい育てあう村づくり 支え合う福祉と健康の村づくり</p>		<p>SDGs目標</p>  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>																	

スクールバス運行事業		総事業費：4,192万円	
<p>【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進 安心・安全な学習環境づくりに向けて、スクールバスを運行します。</p> <p>令和7年度は、これまでの試験運行・実証運行の結果を踏まえて、令和6年度実績を拡充した168日間運行します。</p> <p>具体的には児童が歩くことで、通学路の危険箇所の把握や体力向上を目的に、4.5月を徒歩通学期間とし、6月から3月までを継続してスクールバス運行を実施します。なお、令和7年度以降も車両の確保、ドライバー確保を含む事業者との調整及び乗降場所の検討を更に進めます。</p>		<p>係名：教育係</p> 	
<p style="text-align: center;">主な事業費</p> <p>スクールバス運行業務委託料 4,192万円</p>		<p style="text-align: center;">財源内訳</p> <p>村の負担（一般財源） 4,192万円</p>	
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>学びあい育てあう村づくり</p>		<p>SDGs目標</p> 	

中学校教育振興事業		総事業費：4,759万円	
<p>【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進</p> <p>教員の負担軽減や生徒の多様なニーズに応えるため、令和9年度から学校の部活動を地域クラブに移行することを目標とし、段階的に移行を推進します。</p> <p>令和7年度は休日、令和8年度は平日の部活動を地域に移行することを目標とし、指導者の確保や指導体制の確立を推進します。また、引き続き地域の外部講師への指導依頼により、教職員の負担軽減を図ります。</p>		<p>係名：教育係</p> 	
<p style="text-align: center;">主な事業費</p> <p>部活動指導員報酬費 拡充 154万円</p>		<p style="text-align: center;">財源内訳</p> <p>国支出金 24万円 県支出金 95万円 村の負担（一般財源） 35万円</p>	
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>学びあい育てあう村づくり</p>		<p>SDGs目標</p> 	

○ 白馬高校支援係

白馬高校支援事業		総事業費：9,766万円	
<p>【重点分野】子育て支援（少子化対策）の推進</p> <p>地域校である「白馬高等学校」をより魅力的な学校になるよう支援することとして、全国から生徒を募集し、寮や公営塾の運営などを小谷村と共同で行っています。</p> <p>小谷村との共同事業のため、白馬山麓事務組合にて事務を行い、白馬村から負担金として支出しています。</p> <p>(1)地域おこし協力隊 ・地域コーディネーター 1名・公営塾講師 1名</p> <p>(2)学生寮「しろうま Pal House」</p> <p>(3)公営塾「しろうま學舎」</p>		<p>係名：白馬山麓事務組合高校支援係</p>  <p style="text-align: center;">学生寮「しろうまPalHouse」</p>	
<p style="text-align: center;">主な事業費</p> <p>地域おこし協力隊報酬等 889万円 白馬山麓事務組合負担金 8,877万円</p>		<p style="text-align: center;">財源内訳</p> <p>ふるさと基金繰入金 4,000万円 諸収入等 15万円 村の負担（一般財源） 5,751万円</p>	
<p>第5次総合計画基本目標</p> <p>学びあい育てあう村づくり</p>		<p>SDGs目標</p>  	

○ 生涯学習スポーツ課

スノーハープ維持管理事業		総事業費：2,355万円	
<p>【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進 係名：スポーツ振興係</p>			
<p>クロスカントリー競技場施設の維持管理を実施し、各種大会の開催のほか、広大な芝生や多目的コースを活用し、多目的にスポーツや遊び、レジャーを楽しめる施設を提供します。</p>			
<p>主な事業費</p>		<p>財源内訳</p>	
施設維持管理委託料	952万円	国委託金	126万円
燃料、高熱水費	559万円	村の負担（一般財源）	1,424万円
圧雪車点検整備	300万円	利用者負担金等	261万円
<p>第5次総合計画基本目標 生涯にわたりスポーツに親しむ村づくり 一人ひとりに活躍の場がある村づくり</p>		<p>SDGs 目標</p> 	

白馬ジャンプ競技場維持管理事業		総事業費：1億6,615万円	
<p>【重点分野】「世界水準」と「持続可能性」を意識した観光の村づくりの推進 係名：スポーツ振興係</p>			
<p>ジャンプ競技場施設の維持管理を実施し、各種大会開催のために会場を提供します。 競技場の管理については、村は長野県から指定管理を受けています。 施設の老朽化に伴い、人工降雪機の更新を行い、既存の配管改修やゼロカーボン実現に向け燃料式から電気式の降雪機へと切り替えます。</p>			
<p>主な事業費</p>		<p>財源内訳</p>	
降雪機更新工事	5,673万円	国・県支出金	4,908万円
施設維持管理委託料	6,000万円	村の負担（村債）	4,250万円
その他委託料	865万円	村の負担（一般財源）	3,210万円
燃料、高熱水費	1,364万円	利用者負担金等	2,182万円
リフト改修工事	648万円		
<p>第5次総合計画基本目標 生涯にわたりスポーツに親しむ村づくり 一人ひとりに活躍の場がある村づくり</p>		<p>SDGs 目標</p> 	

ナショナルトレーニングセンター事業		総事業費：1,176万円	
<p>ノルディック複合のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点に指定されている白馬ジャンプ競技場・白馬クロスカントリー競技場において、国の受託事業として競技力強化のための各種事業に取り組みます。 ＜参考＞委託事業総額(国庫受入額：1,800万円) ジャンプ競技場維持管理事業への充当 施設使用料 395万円、施設整備費・燃料費等 380万円 クロスカントリー競技場維持管理事業への充当 施設使用料・40万円、燃料費 85万円</p>			
<p>係名：スポーツ振興係</p>			
<p>主な事業費</p>		<p>財源内訳</p>	
備品購入	125万円	国委託金	388万円
クロスカントリーコース整備	100万円		
機能強化ディレクター委託	96万円		
医科学データ収集、分析業務	67万円		
<p>第5次総合計画基本目標 一人ひとりに活躍の場がある村づくり</p>		<p>SDGs 目標</p> 	

社会教育事業		総事業費：1,602万円	
係名：生涯学習係			
<p>芸術文化振興、子ども会・育成会、青少年健全育成、二十歳の集いなど、社会教育に関する各種事業を行います。 環境防災ツーリズムにより学校、村民の防災意識を高めます。</p>			
主な事業費		財源内訳	
ウイング21芸術文化 自主公演負担金	200万円	県支出金	93万円
子ども会育成会負担金	25万円	ふるさと基金繰入金	200万円
青少年育成村民会議負担金	20万円	村の負担（一般財源）	102万円
環境防災ツーリズム事業	150万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
学びあい育てあつ村づくり			

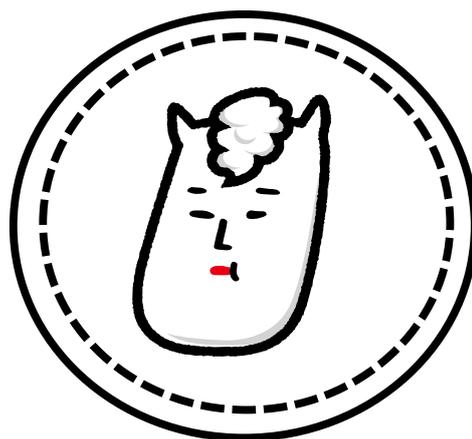
公民館事業		総事業費：820万円	
係名：生涯学習係			
<p>出会い・ふれあい・学びあいをテーマに、「魅力ある自然を守り、歴史と文化を継承する」、「次世代を担う青少年の育成と学びあい、育てあつ村づくりに貢献する」という目標を掲げて、様々な講座や行事を実施します。</p>			
主な事業費		財源内訳	
公民館講座講師謝礼等	68万円	利用者負担金等	40万円
村民登山委託料	16万円	村の負担（一般財源）	63万円
総合補償制度掛金	19万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
学びあい育てあつ村づくり			

図書館事業		総事業費：1,770万円	
係名：生涯学習係			
<p>白馬村図書館の基本理念「一人ひとりの成長に寄り添い、共に創る図書館」の実現に向けて、県や他市町村の図書館と連携しながら各種施策を推進します。 図書館等複合施設の建設が先送りとなったことから、現在の図書館の利用者利便向上のため、児童室と書庫の間の間仕切りを撤去し開架スペースを拡張します。</p>			
主な事業費		財源内訳	
図書等購入費	150万円	村の負担（一般財源）	255万円
相互利用促進事業負担金	26万円		
デジとしょ信州負担金	4万円		
改修工事	新規 75万円		
第5次総合計画基本目標		SDGs目標	
学びあい育てあつ村づくり			

伝統的建造物群保存事業		総事業費：560万円	
<p>青鬼地区は、重要伝統的建造物群保存地区に選定されて20年以上が経過し、人口減少や高齢化などが大きな課題となっています。</p> <p>青鬼神社本殿覆屋の修理を令和7年度から8年度の2年間で実施します。令和7年度は本殿覆屋をジャッキアップし、廃土、伐採工事を行います。</p> <p>また、昨年度多くの方に参加いただいた石積みのワークショップを引き続き開催し、地域内外の人々に青鬼地区の価値を理解してもらう機会を設けます。</p>		係名：生涯学習係 	
主な事業費 ワークショップ開催費用 17万円 青鬼神社修理工事補助金 新規 431万円		財源内訳 国・県支出金 218万円 県支出金 13万円 ふるさと基金繰入金 200万円 村の負担（一般財源） 17万円	
第5次総合計画基本目標 自然との生き方を受け継ぐ村づくり		SDGs目標 	

ウイング21維持管理事業		総事業費：8,332万円	
<p>ウイング21は、平成10年4月に竣工し、長野冬季オリンピック時には、白馬村の支援本部が置かれ、スポーツや文化の拠点として運営しています。施設の長寿命化と、維持管理を行ないながらアリーナや文化ホール等を村民のみならず多くの方に利用いただき、スポーツや文化振興の場を提供します。</p> <p>令和7年度は、施設の老朽化に伴う設備修繕工事の更新等を行います。</p>		係名：スポーツ振興係 	
主な事業費 空調集中管理装置更新 2,112万円 スプリンクラーアラーム弁更新 2,500万円 湧水ポンプ更新 58万円 照明のLED化（リース） 255万円		財源内訳 村の負担（村債） 4,660万円 村の負担（一般財源） 265万円	
第5次総合計画基本目標 生涯にわたりスポーツに親しむ村づくり 一人ひとりに活躍の場がある村づくり		SDGs目標 	

体育施設維持管理事業		総事業費：2,335万円	
<p>白馬村体育施設（南北グラウンド・南北農業者トレーニングセンター・B&G海洋センタープール体育館等）の維持管理を行ない、利用者にスポーツの場を提供します。</p> <p>施設の老朽化に伴う設備修繕工事の更新等を行います。</p>		係名：スポーツ振興係 	
主な事業費 北部トレーニングセンター LED化 478万円 B&G体育館駐車場 雨水対策工事 234万円		財源内訳 村の負担（村債） 470万円 村の負担（一般財源） 242万円	
第5次総合計画基本目標 生涯にわたりスポーツに親しむ村づくり 一人ひとりに活躍の場がある村づくり		SDGs目標 	



令和7年度版

ざっくりわかる白馬村の予算書